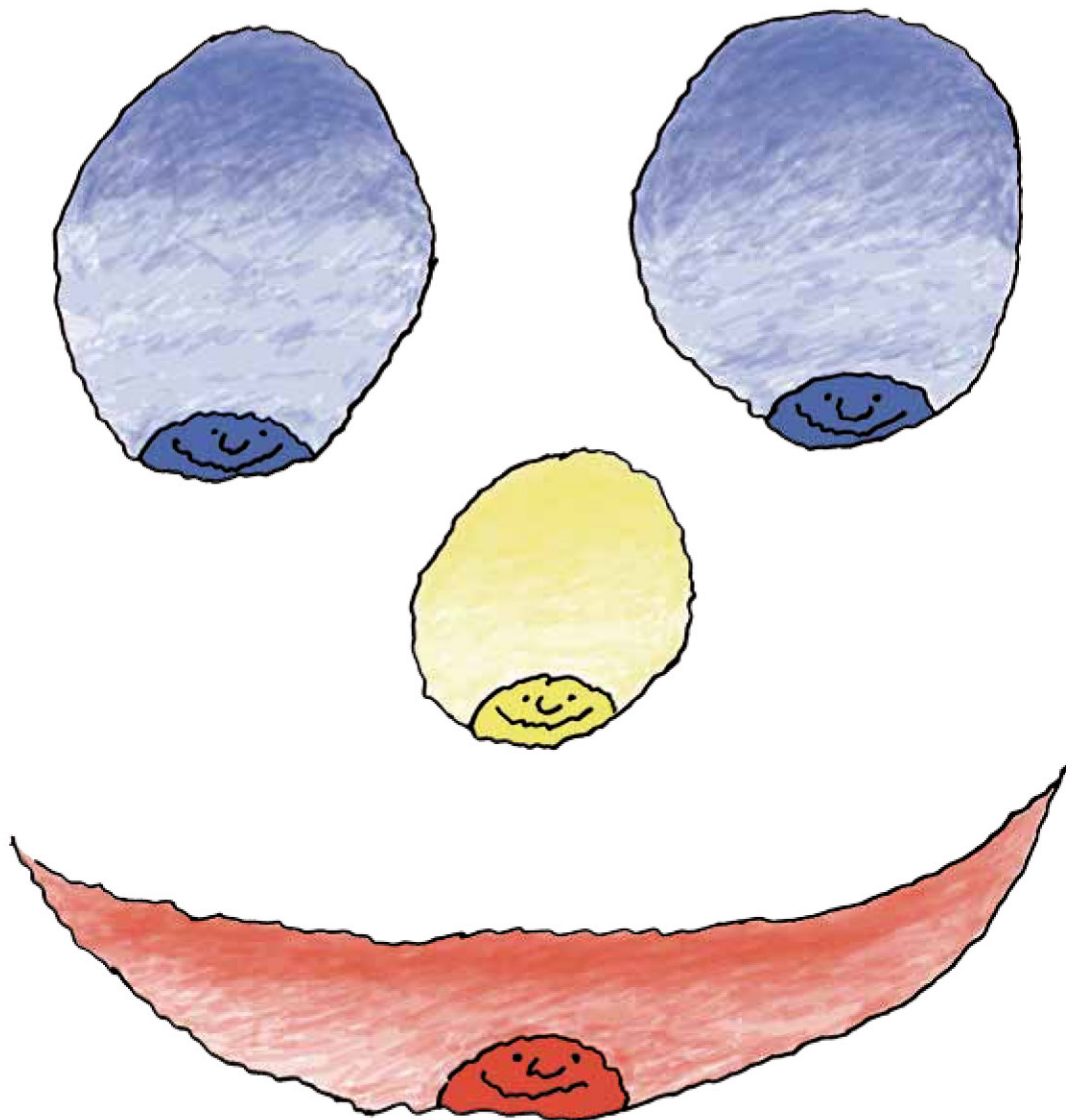


古川タク展「あそび ココロ」“1本の線から”

2011年7月9日(土)~8月14日(日) (水曜休館)

武蔵野市立吉祥寺美術館



古川タク展 「あそび ココロ」 “1本の線から”

2011年7月9日(土)~8月14日(日) (水曜休館)
武蔵野市立吉祥寺美術館

- 開館時間=午前10時~午後7時30分
 - 入館料=100円 (ただし、小学生以下・65歳以上・障がい者は無料)
 - 主催=武蔵野市立吉祥寺美術館
- 機材協力: キヤノンマーケティングジャパン株式会社
東京工芸大学アニメーション学科
WEB協力: MONONOFU LLC.

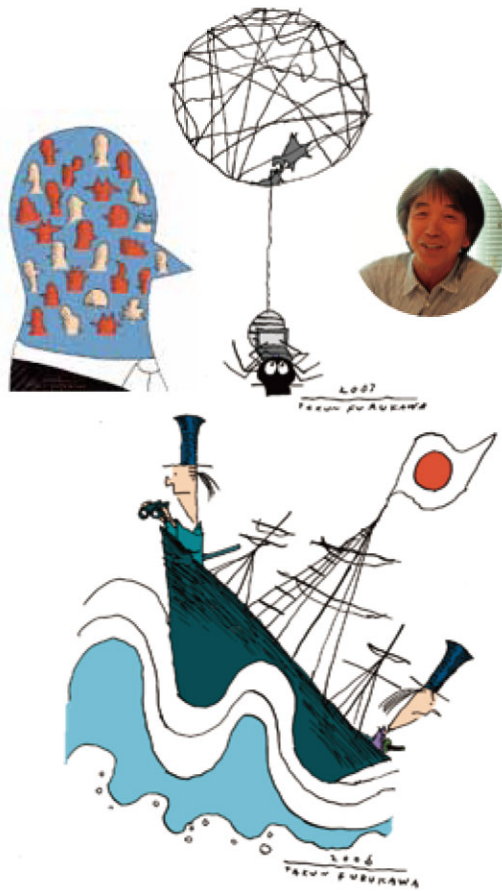


龍安寺石庭にて 1991 (AT THE RYOANJI-TEMPLE)
9m×5m×1.2m 紙、マーカー・メディウム (撮影 大橋治二)
青山、小原会館エスパOHARAにて1991年に催された古川タクARTOON展にて展示。今回はその時以来の公開で、スペースの都合により、部分展示となる。石庭を見つめるアメリカ人の若者観光客の姿が印象に残って制作。紙作品なのでそろそろ保存の限界にきている。おそらく最後の公開になる。

武蔵野市立吉祥寺美術館
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-8-16
FFビル(コビス吉祥寺A館)7階
Tel.0422-22-0385 FAX.0422-22-0386
メール:museum-ws@musashino-culture.or.jp
URL:http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/



JR中央線、京王井の頭線「吉祥寺駅」下車徒歩3分。
美術館専用の駐車場はありません。



シンプルな線で描かれたユーモア溢れるアニメーションやイラストで知られる古川タク(1941-)は、高校生の頃から漫画を描き始め、1960年代には久里洋二の主宰する実験漫画工房に入社して本格的にアニメーションを学びました。独立後、短編アニメーションを次々と発表し、1975年にはアニメーションの元祖とも言われる19世紀の映像玩具へのオマージュ作品《驚き盤》でアヌシー国際アニメーション映画祭審査員特別賞、1980年には《スピード》で毎日映画コンクール大藤信郎賞受賞など、国内外で高く評価されました。またNHKテレビ「みんなのうた」の映像を定期的に手がけてきたほか、イラストレーターや絵本作家としても幅広く活動しており、近年は東京工芸大学アニメーション学科で教鞭をとる傍ら、自称世界最高齢アニメーション創作集団「G9+1」の一員としても活動するなど精力的に制作を続けています。

フィルムからデジタルへ、時代とともに変化するメディアにあわせてアニメーション制作も変化してきました。CGや3Dなどによる大作が目される一方で、古川の描き出す短編作品は、パラパラ漫画のような軽妙さがあり、アニメーションの根源である「絵が動く」という現象への単純な驚き、面白さをあらためて思い起こさせてくれるようです。

本展ではアニメーション上映のほか、イラストや絵本原画、インスタレーションなどにより、古川タクの多方面にわたる創作活動をご紹介します。ふにゃふにゃの線から浮かび上がる、時にあたたかく、時に鋭いユーモアの世界をお楽しみください。



関連イベント 屋外上映会

夏の一夜、昔懐かしい映写会の雰囲気をお楽しみください。
日時: 7月9日(土)午後7時~8時
会場: コビス吉祥寺A館3階 吉祥空園SORA
入場自由・無料。席座に限りがあります。雨天中止。

対談 「漫画、絵本、アニメーションについて気ままに話そう」

講師: 古川タク×林静一
日時: 7月16日(土)午後2時~3時30分
会場: 吉祥寺美術館 音楽室
定員: 90名(要予約・先着順)
入場無料(ただし美術館入館券が必要)
予約方法: 7/2(土)より
電話または美術館窓口で直接申し込み

ワークショップ 「パラパラ漫画をらくがきしよう!」

タクさんと一緒に、ノートのすみにらくがきしちゃう!
日時: 8月6日(土)午後2時~4時
会場: 吉祥寺美術館 音楽室
対象: 小学生以上のお子様と保護者 15組30名
参加費: 1組500円
予約方法: はがき・FAX・メールのいずれかに
①ワークショップ名
②住所
③氏名
④電話番号
⑤メールアドレス(あれば)を記入の上、吉祥寺美術館ワークショップ係まで。
7/23(土)締切(必着)。
応募者多数の場合は抽選(市民優先枠あり)とし、結果は全員に通知します。

